

ユースのエンパワメントと動員

GAPパートナーネットワーク 4 活動報告

UNESCO Global Action Programme on
Education for Sustainable Development

五井平和財団 宮崎雅美

フラッグシップ・プロジェクト（PN4）

目的：

ESDユースリーダーを育成し、持続可能な社会の担い手となる若者を世界各地に増やす

内容：

- ESDリーダーシップ育成プログラムの開発
- 各地域でワークショップ実施
- ESDユース・コンファレンスの開催

ESDリーダーシップ育成プログラム

構成：

- 事前オンライン・セッション

ビデオ会議、ウェビナー

- 2日間のワークショップ

1日目: ESDに必要な考え方や能力を養うための体験型トレーニング

「SDGs」「システム思考」「紛争転換」「リーダーシップ」など

2日目: ESDを実践するためのスキルを学ぶと共に、参加者間のネットワークを強化

「ビジョニング」「ファシリテーション」「ネットワーキング」など

- 事後の実践

各自が学びをもとにワークショップを企画実施し、成果を報告する

地域別ワークショップ (2017・2~2018・3)

地域	開催都市
アフリカ	ケニア・ナイロビ
アラブ諸国	レバノン・ベイルート
アジア太平洋	タイ・バンコク (インド・ニューデリー)
ヨーロッパ	アイルランド・ダブリン
中南米	ブラジル・ブラジリア
ユースリポーター	ポルトガル・アルマダ

ワークショップ参加者総数

93カ国300人

→ さらに参加者が動員した若者 1万1000人以上



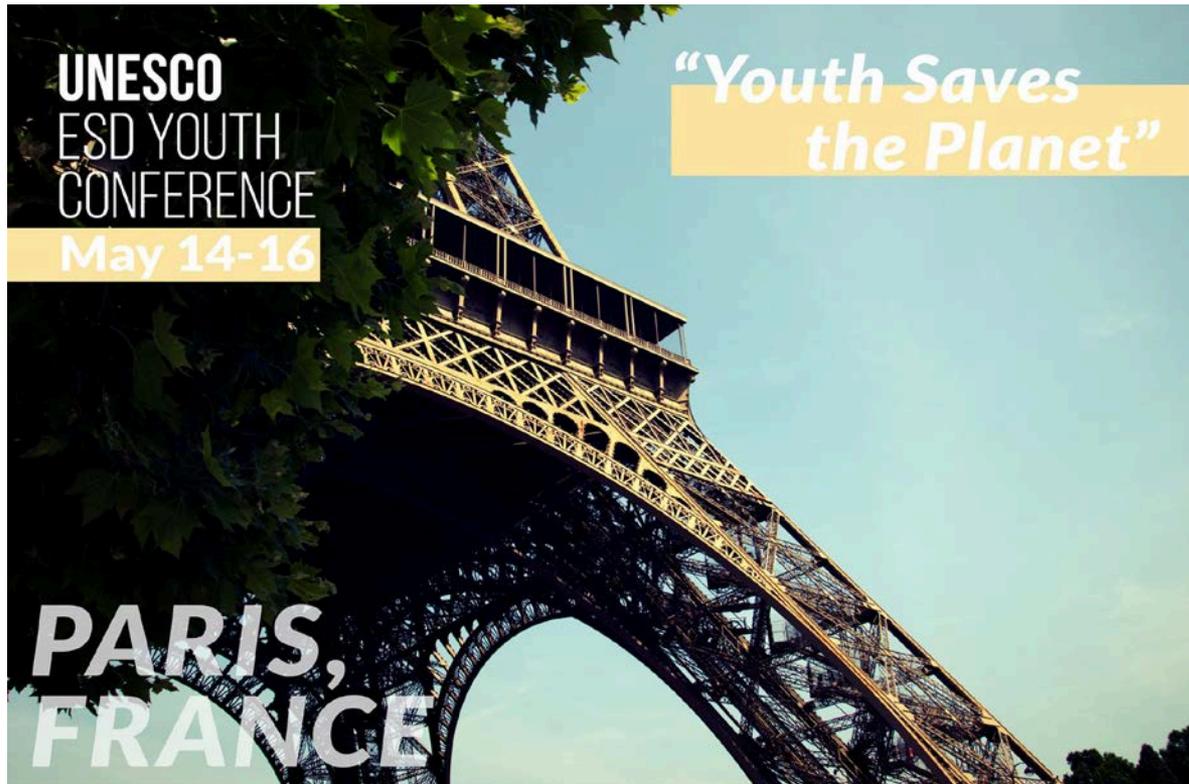








ESDユース・コンファレンス 「Youth Saves the Planet (若者が地球を救う)」 2018年5月14～16日 @パリ・ユネスコ本部



ESDユース・コンファレンス

参加者：

- 地域別ワークショップ参加者 50名
- ユースレポーター 20名

目的：

- ① ESDユースリーダーのグローバルなプラットフォームを形成し、協働とネットワークの拡大を加速させる
- ② 若者の発信力を高め、ESD活動の認知度を高める
- ③ ポストGAPポジションペーパー案への提言をまとめる













『Okayama Youth』

- 2014年11月、「ESDに関するユネスコ世界会議」の一環として、岡山市において「ユネスコESDユース・コンファレンス」を開催
- 世界180か国5000人の応募者から選ばれた50人が参加
- 成果物として、ユース・ステイトメントを世界会議に提出
- GAPパートナーネットワークに若者代表として参画
- フラッグシップ・プロジェクトでは、ファシリテーターやメンターとして後輩の育成に貢献

ユネスコ／日本ESD賞

ユース主導の受賞団体

2015

- Asociación SERES (グアテマラ、エルサルバドル) 「ESDユース・アンバサダー」
- rootAbility (ドイツ) 「グリーン・オフィス・モデル」

2016

- CCREAD地域再生開発センター (カメルーン) 「学校や地域の学習センター」
- NUS全英学生連盟 (イギリス) 「グリーン・インパクト認定プログラム」

2017

- Zikra Initiative (ヨルダン) 「地域文化再生のための交流ツーリズム」

ESD日本ユース・コンファレンス 日本／ユネスコパートナーシップ事業

- 2014年に世界会議のプレ・コンファレンスとして第1回を開催
- 毎年、全国各地から18～35歳のESD実践者約50名が参加
→ 過去参加者約200名を中心とした「ESD日本ユース」コミュニティが形成され、学び合い、相互支援、協働が行われている
- 第5回ESD日本ユースコンファレンス
2018年10月13～14日 @名古屋
- プラットフォーム会合 2019年2月17日 @東京

ポストGAPにおけるユースの役割

コスタリカ会合での議論

- 「サステナビリティ」とは、これまでの状態を持続させるだけでなく、常に移り変わる世界に適応すること
- ESDも現代社会の新しい問題、トレンドにそって進化する必要がある
- 若い世代のトレンド：
サステナビリティ＝個人の価値観
ライフスタイルの選択
- 個人の変容のプロセスを研究・考慮したESDへ
→ サステナビリティをカルチャーとして広める

コミュニティの重要性

- コミュニティは、学びを行動に移すプラットフォーム（場）になる場合が多い
- コミュニティには、地域コミュニティのみならず、オンライン、社会、政治、文化など様々な形の共同体が存在する
- 自分に直接関わるコミュニティの問題や、連帯できる仲間の存在が、変容をもたらすアクションを促す
- ポストGAPでは、コミュニティは行動分野の一つであると同時に、すべての行動分野の節点であり、特に「ユース」の取り組みには「コミュニティ」の存在が重要である

今後ユースに必要な支援

- 未来に関わる意思決定プロセスにユースの参加機会を増やすこと
- ユースの強みである創造力、革新性を引き出す取り組みを支援すること
- そのために、若い世代の行動様式や価値観のトレンドを調査研究し、ESDに活かしていくこと

→ **ポストGAP**においても、ユースは重要な分野の一つ